

## 訪問研修についてのQ&A



Q：保育を見られるとなると、構えてしまって負担に感じます。指導案もしっかり書かなくてははいけませんか。

- 日頃の保育をもとに研修を行い、日頃の保育を改善していくことが大切ですので、いつも通りの保育を参観させてください。また指導案（保育活動案）は、活動の流れが簡単に記載してあれば十分です。

Q：毎年希望しても構わないのですか。

- 構いません。ただし、希望する施設が予定の施設数を超える場合は、調整をさせていただきます。

Q：研修の対象は3～5歳児となっていますが、認定こども園なので、0～2歳児の保育を見てもらうことは可能ですか。

- 可能です。ただ、研修会での対象は3～5歳児とすることをご了承願います。その場合も0～2歳児の保育を踏まえて研修を行います。

Q：研修会は何分くらいで、誰が進めるのですか。

- これまでの例としては、1時間～1時間半程度が多いですが、園や所の希望に応じて研修時間を設定します。園や所の研修と一緒に参加させてもらうので、司会は園や所の方がされる場合が多いです。

Q：研修会で助言をするアドバイザーや推進リーダーはどのような人で、どのようなアドバイスをしてもらえるのですか。

- 幼児教育の豊富な実践経験を有する園(所)長、副園(所)長、主任等、もしくはその経験者が伺います。保育を参観し、子どもの姿や保育者の関わりを基に、具体的で実践的なアドバイスをします。

Q：研修会の時間設定をどうすればよいですか。

- 園や所の実情に合わせて設定してください。午前中に保育参観の場合はお昼寝の時間や、間をおいて夕方の時間を研修会にあてる園や所が多いです。午後から保育を参観し、そのまま研修会というケースもあります。事前に幼児教育センターより打ち合わせの連絡をしますので、ご相談ください。

Q：センターからは何人、研修に参加しますか。園(所)からの参加人数は限られています。

- 基本的には2名～3名です。
- たくさんの方に参加いただければよいのですが、保育がありますので、参加可能な方で構いません。研修会に参加できなくても、「保育だけ参観する」「前日の保育を見て付箋を通して参加する」など、研修方法の工夫をしている園や所もありますので、参考にしてください。